

Nature 誌掲載 STAP 論文について

2014 年 3 月 14 日

独立行政法人理化学研究所
発生・再生科学総合研究センター
センター長 竹市雅俊

この度は、当センター職員が発表した研究論文に不適切な点が多
あり、大きな混乱を生み出しましたことについて、センターの責任
者として心からお詫び申し上げます。今回報告いただいた調査委員
会の中間報告を真摯に受け止めております。

誤りを指摘された論文著者は、論文の訂正を Nature 誌に投稿してい
るところではありますが、種々の誤りの中に、論文の信頼性を著し
く損ねる誤りが発見されました。これにより、本論文を速やかに撤
回し研究をやり直すことが最も重要であると私は判断し、論文撤回
を著者に勧めました。ただし、論文の撤回は、全ての責任著者の合
意を経た上で、撤回についての最終判断は Nature 誌に任されてお
ります。

本論文がこのような状況に陥ったことは誠に遺憾であります。私共
は、今回の出来事を教訓とし、これまで以上に、研究の実施及び論
文作成等における倫理観の育成、適正な情報管理を行うための心構
えを再確認し、再びこのような事態が起こらないよう最善を尽くし
て参ります。STAP 細胞の真偽については、独立の研究グループによ
って検証・再現されることが唯一の手段であります。科学者コミュ
ニティによる積極的な検証を是非ともお願いしたく存じます。